

平成30年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 4 7 番地 1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	合計
目標値	39,500	41,000	55,000	58,500	58,500	252,500
実績値	40,956	54,951	58,364	58,277	51,419	263,967
差	1,456	13,951	3,364	△ 223	△ 7,081	11,467

指定管理者制度導入後、毎年度で目標を達成し、平成28年度は実績値が過去最高となりました。平成30年度は市内の類似施設の再開により目標値を下回りました。今後は新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容について、水泳教室や体験会など多世代に応じた自主事業を開催し、利用者増加に向けた努力が確認できましたが、市内の類似施設の再開により利用者数は減少に転じました。今後は指定管理者の特色を活かし、新たな企画を開催するなど、新規利用者の獲得を図ることを求めます。

収支については、指定管理者の様々な事業実施による経営努力の結果、適正な範囲でした。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。プール事故を未然に防ぐため、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を求めます。また、水質管理や設備の衛生管理についても万全の対策を求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。コース専用利用者と個人利用者の利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等に則り、事業運営に関する業務を適切に実施していました。また、水泳教室の開催など利用促進に努めていました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用料金などの収入、施設管理費等の支出について適正に処理していました。領収書や経理関係調書の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、事故等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を取っています。緊急時の対応マニュアルが整備され、職員等の訓練も実施しています。夏休みなど子どもの利用が増える時期には監視体制を強化するなど、利用者の安全第一に努めています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

事業収支

経済性

支出について、当初計画の範囲内において適正に執行していました。収支についても、経営努力により安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。

令和元年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 4 7 番地 1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数 (単位：人)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	合計
目標値	41,000	55,000	58,500	58,500	47,000	260,000
実績値	54,951	58,364	58,277	51,419	40,990	264,001
差	13,951	3,364	△ 223	△ 7,081	△ 6,010	4,001

指定管理者制度導入後、利用者数は増加傾向にありましたが、平成30年度に市内の類似施設の再開もあり、利用者数は減少に転じています。令和元年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館もあり、利用者数は大きく減少しました。今後は新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、水泳教室や体験会など多世代の利用に応じた自主事業を開催し、利用者増加に向けた努力が確認できましたが、利用者数の大幅な増加に至りませんでした。今後は指定管理者の特色を活かし、新たな企画を開催するなど、新規利用者の獲得を図ることを求めます。

施設の管理については、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を講じ、プール事故等の発生はありませんでした。また、水質管理や設備の衛生管理についても適切に実施していました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。また、利用者のニーズに対応した自主事業の企画・実施や周辺施設との合同イベントの開催など、菊川温泉施設の一体的な管理によるメリットを生かし、利用者の拡大に努めることを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。団体利用者と個人利用者との利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等に則り、事業運営に関する業務を適切に実施していました。
施設利用の許可等について、苦情・問題はなく、適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係調書の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休館の際には、利用者への周知等迅速な対応を図りました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

事業収支

経済性

支出について、当初計画の範囲内において適正に執行し、経費の節減を図りましたが、利用料金の減収により収支は赤字となりました。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、適切に会計処理しています。さらなる利用者増加に努めることを求めます。

令和2年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝547番地1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
目標値	55,000	58,500	58,500	47,000	46,000	265,000
実績値	58,364	58,277	51,419	40,990	35,862	244,912
差	3,364	△ 223	△ 7,081	△ 6,010	△ 10,138	△ 20,088

指定管理者制度導入後、利用者数は増加傾向にありましたが、平成30年度に市内の類似施設の再開もあり、利用者数は減少に転じています。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館もあり、利用者数は大きく減少しました。今後は新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、水泳教室を開催するなど利用者数の増加に努めており、今後も指定管理者の特色を活かしながら、さらなる企画の充実を図ることを期待しています。

施設の管理については、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を講じ、プール事故等の発生はありませんでした。また、水質管理や設備の衛生管理についても適切に実施していました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。また、利用者のニーズに対応した自主事業の企画・実施や周辺施設との合同イベントの開催など、菊川温泉施設の一体的な管理によるメリットを生かし、利用者の拡大に努めることを求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。団体利用者と個人利用者との利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等に則り、事業運営に関する業務を適切に実施していました。
施設利用の許可等について、苦情・問題はなく、適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の收受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係調書の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休館の際には、利用者への周知等迅速な対応を図りました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

経済性

事業収支について、当初計画の範囲内において適正に執行されていました。安定的かつ継続的に管理運営できる範囲内であると認められます。

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けていますが、財務状況については、特に大きな問題はないため、健全な経営を目指し事業に取り組まれていると判断しました。

令和3年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 4 7 番地 1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	合計
目標値	58,500	58,500	47,000	46,000	44,000	254,000
実績値	58,277	51,419	40,990	35,862	35,293	221,841
差	△ 223	△ 7,081	△ 6,010	△ 10,138	△ 8,707	△ 32,159

指定管理者制度導入後、利用者数は増加傾向にありましたが、平成30年度に市内の類似施設の再開もあり、利用者数は減少に転じています。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館もあり、利用者数は大きく減少しました。今後は新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、水泳教室を開催するなど利用者数の増加に努めており、今後も指定管理者の特色を活かしながら、さらなる企画の充実を図ることを期待しています。

施設の管理については、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を講じ、プール事故等の発生はありませんでした。また、水質管理や設備の衛生管理についても適切に実施していました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務のさらなる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。また、利用者のニーズに対応した自主事業の企画・実施や周辺施設との合同イベントの開催など、菊川温泉施設の一体的な管理によるメリットを生かし、利用者の拡大に努めることを求めます。

基本的な考え方(施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮)

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。団体利用者と個人利用者との利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

業務内容

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等に則り、事業運営に関する業務を適切に実施していました。
施設利用の許可等について、苦情・問題はなく、適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の収受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う休館の際には、利用者への周知等迅速な対応を図りました。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

事業収支

経済性

支出については、適正に執行されていました。収支については、休館に伴う利用料の減少部分の補填と指定管理者の経営努力により、ほぼ収支均衡となるレベルとなりました。事業収支は、安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

団体の経営状態

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響を受けていますが、財務状況については、特に大きな問題はないため、健全な経営を目指し事業に取り組まれていると判断しました。

令和4年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	下関市菊川温泉プール
所在地	下関市菊川町大字下岡枝5 4 7 番地 1
指定管理者	団体名称 一般財団法人下関市公営施設管理公社
	代表者 理事長 濱本 笙子
	団体所在地 下関市唐戸町4番1号カラトピア4階
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認に当たっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、指定管理者へのヒアリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉のとおり、具体的な業務の実施状況等についての確認結果をコメントした上で、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	菊川総合支所地域政策課
	TEL : 083 - 287 - 1115
	E-mail : kgchiiki@city.shimonoseki.yamaguchi.jp

■ 目標値の達成度

□指標：施設の利用者数

(単位：人)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	合計
目標値	58,500	47,000	46,000	44,000	42,000	237,500
実績値	51,419	40,990	35,862	35,293	41,121	204,685
差	△ 7,081	△ 6,010	△ 10,138	△ 8,707	△ 879	△ 32,815

指定管理者制度導入後、利用者数は増加傾向にありましたが、平成30年度に市内の類似施設の再開もあり、利用者数は減少に転じています。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴う休館もあり利用者数は大きく減少しました。令和4年度は、利用者数は回復しましたが、目標値をやや下回る結果となりました。引き続き新規利用者の獲得に向けたイベントを開催するなど利用者の増加に努めることを求めます。

■ モニタリングの総合コメント

本施設の設置目的は、市民の健康の増進と体育の振興を図るためです。管理運営の実施状況については、施設の設置目的を達成しながら、指定管理者制度導入の目的である市民サービスの向上を果たしています。また、施設の維持管理、業務の実施、事業の実施についても適切に行われており、総合的に判断して良好と評価します。

業務内容については、水泳教室を開催するなど利用者数の増加に努めており、今後も指定管理者の特色を生かしながら、更なる企画の充実を図ることを期待しています。

施設の管理については、設備点検、監視体制、監視員の訓練など徹底した安全対策を講じ、プール事故等の発生はありませんでした。また、水質管理や設備の衛生管理についても適切に実施していました。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

本年度以降も、本施設の設置目的を達成するため、業務の更なる向上充実を図り、利用者が安心して利用できるような環境づくりを求めます。また、利用者のニーズに対応した自主事業の企画・実施や周辺施設との合同イベントの開催など、菊川温泉施設の一体的な管理によるメリットを生かし、利用者の拡大に努めることを求めます。

合目的性・公平性・効果性

施設の安全・維持管理等、施設の設置目的に沿った実施方針に基づき適切に運営していました。団体利用者と個人利用者との利用調整を図り、公平・平等に利用できるよう努力していました。

機能性・独創性(事業への具体的な取組み方)

遊泳用プールの衛生基準、プールの安全標準指針等にとっとり、事業運営に関する業務を適切に実施していました。
施設利用の許可等について、苦情・問題はなく、適切に実施していました。

責任性・実行性(施設の運営体制や組織)

業務遂行に必要な人員配置や管理体制の維持に努め、関係条例、規則等を遵守して適切に管理していました。
新型コロナウイルス感染症対策として、消毒液の設置、定期的な換気、設備等の消毒の徹底など、感染防止に努めました。

明瞭性・規律性(適正な事務や経理)

利用許可、利用料金の收受、利用料金の減免等収入については、適正に処理していました。また、施設管理費等の支出について適正に処理していました。
領収書や経理関係書類の整理保管、施設の利用に関する許可申請書等に関する書類も適正に整理保管していました。

安全性(安全管理、緊急時等の対応)

利用者の安全を確保するための施設の保守点検、修繕等も適切に実施しており、施設の不具合等は適宜市へ報告を行っています。また、事故等が発生した場合は、迅速かつ適切な対応を取っています。緊急時の対応マニュアルが整備され、職員等の訓練も実施しています。夏休みなど、子どもの利用が増える時期には監視体制を強化するなど、利用者の安全第一に努めています。

社会性(環境等への配慮)

不要箇所の照明の消灯、冷暖房の使用を控えるなど、省エネに努めました。

経済性

支出について、光熱費の高騰等により昨年度に比べ増加しているものの、適正に執行していました。収支についても、経営努力により安定的かつ継続的に本施設を管理運営できる範囲内であると認められます。

経営の健全性

提出された財務諸表等を分析した結果、財務状況については、特に大きな課題や問題はないため、経営状態は健全と判断しました。